

**Driscal® D Polymer**

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

項目1. 化学物質等及び会社情報**製品情報**

製品名 : Driscal® D Polymer
材質 : 1112534, 1016818

会社名 : シェブロンフィリップス化学株式会社
Drilling Specialties Company LLC
〒103-0022 東京都中央区日本橋
室町3丁目3番9号

緊急連絡電話番号:**健康:**

866. 442. 9628 (北米)
1. 832. 813. 4984 (国外)

輸送:

CHEMTREC 800. 424. 9300 or 703. 527. 3887(int'l)
Asia: CHEMWATCH (+612 9186 1132) China: 0532 8388 9090
EUROPE: BIG +32. 14. 584545 (phone) or +32. 14583516 (telefax)
Mexico CHEMTREC 01-800-681-9531 (24 hours)
South America SOS-Cotec Inside Brazil: 0800. 111. 767 Outside Brazil: +55. 19. 3467. 1600
Argentina: +(54)-1159839431

担当部門 : 製品安全性および毒性グループ
電子メールアドレス : SDS@CPChem.com
ウェブサイト : www. CPChem.com

2. 危険有害性の要約**物質または混合物の分類**

JIS Z7252-2014 及び JIS Z7253-2012 に 従った GHS 分類及びラベル表示 (GHS 2011)

分類

GHS分類基準に該当しない。

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

ラベル付け

GHS分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

別名 : High Temperature Polymer

GHS(世界調和システム) によれば危険有害性成分は含まれていない。

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : コンタクトレンズをはずす。損傷していない眼を保護する。眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

- 引火点 : 適用されない
- 自然発火温度 : データなし
- 特有の危険有害性 : 粉塵が床や棚などに堆積すると、発火して、炎が燃え広がったり、二次爆発が発生する恐れがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
- 詳細情報 : 化学物質の火災に対する標準手順。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 火災および爆発の防止 : 粉塵の生成を避けること。空気中に拡散した微細な粉塵の濃度が一定の水準に達し、発火源が存在する場合、粉塵爆発の危険性がある。粉塵が発生する場所では、換気を適切に行う。
- 危険有害な分解生成物 : データなし。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する予防措置 : 粉塵の発生を避ける。

Driscall® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 除去方法 : 粉塵を発生させないように留意して回収し、廃棄する。直ちに掃くか、吸引機で吸い取る。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
- 追加アドバイス : 汚染表面は非常に滑りやすくなる。製品は湿っていると非常に滑りやすくなることがあるので、床にこぼさない。滑らないようにするために、掃く。粉塵が一定水準以上の濃度で空气中に放出された場合、粉塵堆積物は爆発性混合物を生成する可能性があるため、物質表面に堆積させてはならない。空气中への粉塵の拡散を避けること（例：粉塵の堆積した物質表面を圧縮空気で清掃するなど）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
本物質を取り扱う際に、静電気が蓄積し危険な状態となることがある。この危険性を最小限に抑えるために、接合・接地が必要になる場合があるが、それだけでは十分ではない場合もある。静電気の帯電や引火性環境が発生する可能性のあるすべての作業（タンクおよび容器の充填、飛沫式充填、タンク洗浄、試料採取、計量、負荷切替、フィルタリング、混合、攪拌、およびバキュームトラック操作など）を見直し、適切な軽減対策を施す必要がある。詳細については、「米国労働安全衛生局（OSHA）第29条連邦規則集（CFR）1910.106項“可燃性、引火性液体”」、「全米防火協会“静電気に関する推奨作業基準（NFPA 77）”」、および「2003年度米国石油協会（API）推奨基準、“静電気、電光、迷走電流による発火防止”」を参照のこと。
- 安全取扱い注意事項 : 粉塵の生成を避けること。空气中に拡散した微細な粉塵の濃度が一定の水準に達し、発火源が存在する場合、粉塵爆発の危険性がある。粉塵が発生する場所では、換気を適切に行う。

保管

- 保管場所および容器の必要条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 一般的な保管について : 特に言及すべき物質は無し。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。

保護具

- 呼吸用保護具** : 通常の大気圧下において最小酸素容量の19.5容量%を維持するために、通気または工学的制御が適切でない限り、NIOSH認定送気呼吸器を着用すること。空中への散布レベルが有害となるような作業を行う場合は、有機蒸気用の濾過式呼吸用保護具など、NIOSH認定の呼吸用保護具を着用すること。粉塵・蒸気用濾過式呼吸用保護具 / P100。制御できない放出の可能性があり、曝露レベルがわからない場合、または濾過式呼吸器では十分な保護が行えない場合には、陽圧の給気式呼吸器を使用すること。
- 手の保護具** : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。
- 眼の保護具** : 純水入りの眼洗浄ボトル。保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。必要に応じて着用。保護服。安全靴。
- 衛生対策** : 作業上の一般的な注意事項を守る。

9. 物理的及び化学的性質**基礎物理および化学特性の情報****外観**

- 形状 : 粉末
 物質の状態 : 固体
 色 : 白
 臭い : 無臭
 臭いのしきい(閾)値 : データなし

安全性データ

- 引火点 : 適用されない
- 爆発範囲の下限 : データなし
- 爆発範囲の上限 : データなし

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

酸化特性	: H e T
自然発火温度	: データなし
熱分解	: データなし
分子量	: 適用されない
pH	: 適用されない
流動点	: データなし
沸点／沸騰範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重（密度）	: 1.44
密度	: データなし
水溶性	: 可溶
n-オクタノール／水分配係数	: Pow: < 3
動粘度	: データなし
相対蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。

危険有害反応可能性

避けるべき条件	: 粉塵の発生.
混触禁止物質	: .
熱分解	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

その他のデータ : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報**Driscal® D Polymer****詳細情報**

: 製品は、考慮すべき濃度では、健康に対する危害要因として分類された物質を含みません。

12. 環境影響情報

残留性、分解性

生体蓄積性

: 水生生物に蓄積される可能性は低い。

生分解性

: 数種類の成分の性質を考慮すると、OECD分類に従えば、製品はすぐには生分解しないと推定されます。

環境毒性アセスメント

生態系に関する追加情報

: 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

13. 廃棄上の注意

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA (40 CFR 261) に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

汚染容器及び包装

: 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない（規制の定義を参照）。

他の輸送説明要件（専門的名称など）については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

US DOT (UNITED STATES DEPARTMENT OF TRANSPORTATION)

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

IMO / IMDG (INTERNATIONAL MARITIME DANGEROUS GOODS)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

IATA (INTERNATIONAL AIR TRANSPORT ASSOCIATION)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

ADR (AGREEMENT ON DANGEROUS GOODS BY ROAD (EUROPE))

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

RID (REGULATIONS CONCERNING THE INTERNATIONAL TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS (EUROPE))

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

ADN (EUROPEAN AGREEMENT CONCERNING THE INTERNATIONAL CARRIAGE OF DANGEROUS GOODS BY INLAND WATERWAYS)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

15. 適用法令**国内法規制****毒物及び劇物取締法**

: 該当せず

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 該当せず

表示要求の対象となる危険物質 : 該当せず

有機溶剤中毒予防規則 : 該当せず

化審法

: 該当せず

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

化学物質排出把握管理促進法

: 該当せず

その他の規制

消防法

: 該当せず

火薬類取締法

: 該当せず

船舶安全法

: 該当せず

航空法

: 該当せず

既存化学物質リスト

欧州 REACH

: インベントリーに記載されているか、従っている

スイス CH INV

: インベントリーに記載されているか、従っている

アメリカ合衆国 (米国) TSCA

: TSCA インベントリーに記載

カナダ DSL

: 本製品中の成分は全てカナダDSLリストに掲載されている。

オーストラリア AICS

: インベントリーに記載されているか、従っている

ニュージーランド NZIoC

: インベントリーに記載されているか、従っている

日本 ENCS

: インベントリーに従わない

韓国 KECI

: インベントリーに従わない

フィリピン PICCS

: インベントリーに従わない

中国 IECSC

: 本製品は新物質通知法に基づき通知された1種類以上の物質を含む。しかし、CPChemおよびその他の独立通知者は記録上の輸入者として承認される。

16. その他の情報

詳細情報

レガシー SDS 番号 : 244990

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用されるキーまたは凡例から略語や頭字語まで

ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量

Driscal® D Polymer

版番号 1.2

作成改訂日 2017-09-05

DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム
CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質台帳
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
EGEST	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	労働安全衛生庁
EOSCA	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PIGCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度		